



専攻医の声 Q&A



循環器科
3年次
横関 文弥

Q プログラムの特色を教えてください。

A 当院ではカテーテル治療をはじめとした循環器疾患の検査・治療件数が多く、循環器科の若手レジデントの人数も多い環境のため、活気ある現場で研修を行うことができます。専攻医が始まったばかりの頃は突然循環器内科の医師として院内や救急の循環器疾患に対応することになり不安も大きいいため、年次の近い先輩レジデントや虚血・不整脈の上級医に気軽に相談できる環境は非常にありがたく感じます。学会発表の機会も豊富で、診療科として発表を奨励しておりプレゼンテーションの能力を高めることができます。また、専攻医は夜間や土日の内科救急の対応も行っており、多彩な症例の初療にあたります。診療科の垣根は低く気軽にコンサルトが可能な環境で、内科専攻医としての症例に困ることもありません。

Q この病院で研修を受けて良かったことは？

A 若手にどんどん経験を積ませようという雰囲気があり、シニアレジデント1年目から術者としての経験を多く積むことができます。一方でチームでの診療を行っていますので、オンコールや休日の診療は協力しながら実施でき、メリハリのある生活を送ることができています。院外研修や連携施設も豊富にあり、自分の希望にあった研修を行うことができました。院内では他科へのコンサルトを行うと快く引き受けていただけることが多く、診療科同士の円滑な連携が行えています。循環器診療の多くを自院で経験でき、研修しやすく生活しやすい環境です。ぜひ当院での研修を検討ください。